



情報提供機能に特化したサービス (仮称：iNACCS) の提案

2012年10月19日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

1. 情報提供機能に特化したサービス（仮称：iNACCS）の提案

第6次NACCSでは、新たに情報提供機能に特化したサービス（仮称：iNACCS）を以下のとおり提供する。

| 区 分 | 概 要 | 備 考 |
|------------------------|--|-----|
| 1. 個別検討事項 | 情報提供機能に特化したサービス（仮称：iNACCS）の提案 | |
| 2. 現行仕様 | 現行システムでは、一定期間を経過した情報についてシステムから削除することにより、効率化を図っている。 | |
| 3. 見直しの経緯 （利用者の要望等） | 利用者からのプログラム変更要望として、NACCSに登録されている情報について柔軟な形で提供して欲しい、とする要望が多い。 | |
| 4. 次期仕様 | <ul style="list-style-type: none">➤ 情報提供機能に特化した以下のサービスを提供する。<ul style="list-style-type: none">① レポートサービス② ストレージサービス➤ 管理資料の配信機能を統合する。 | |
| 5. その他 | <ul style="list-style-type: none">➤ 平成29年10月には既存機能（管理資料の配信機能等）をリリースし、その他の機能については平成31年2月までに段階的にリリースすることを検討する。➤ 平成29年10月以降に新NACCSに登録された情報について本サービスで提供する。提供する情報の詳細は今後検討する。 | |

サービス概要

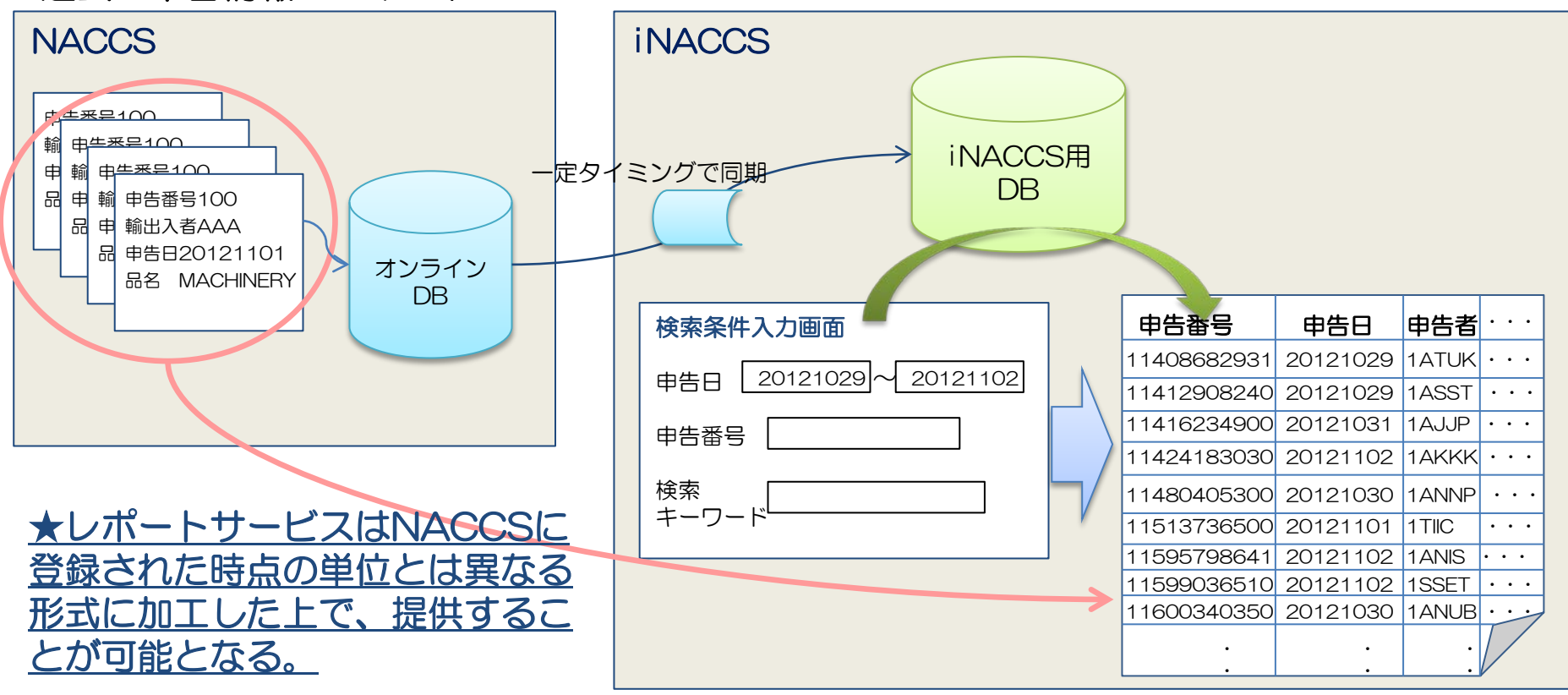
1. オンライン業務でアクセスするDBとは別に、新サービス専用のDBを構築する（仮称：iNACCS）。
2. 新サービス専用のDBは、オンライン業務でアクセスするDBと定期的に同期をとる仕組みとする。（ただし、リアルタイムの同期ではない。）
3. 新サービス専用のDBは、大量データの保管を行うことを前提とした仕組みとする。
4. iNACCSで提供するサービスは、以下の2種類のサービスとする。
 - ① レポートサービス
⇒NACCSで処理された情報について、必要な形式に加工してレポート形式で提供するサービス。
現行の管理資料についても本サービスの一部として提供する。
 - ② ストレージサービス
⇒NACCSで処理された情報を、iNACCSで長期間保管し、保管している情報を利用者が必要なタイミングで取り出しこと等を可能とするサービス。

3. レポートサービスについて（概要）

レポートサービス

NACCSで処理された情報について、必要な形式に加工してレポート形式で提供する。

レポートサービスイメージ ～過去の申告情報のレポート～



3. レポートサービスについて（詳細）

(A) 新規レポート情報の提供

【サービス概要】

- 現状、管理資料でも、オンライン業務の照会機能でも提供していない履歴情報等について新規にレポートサービスとして提供する。

【具体例】

- (a) インボイス情報、申告情報、貨物情報、コンテナ情報等の過去データの提供
- (b) 船舶基本情報等の訂正履歴情報の提供

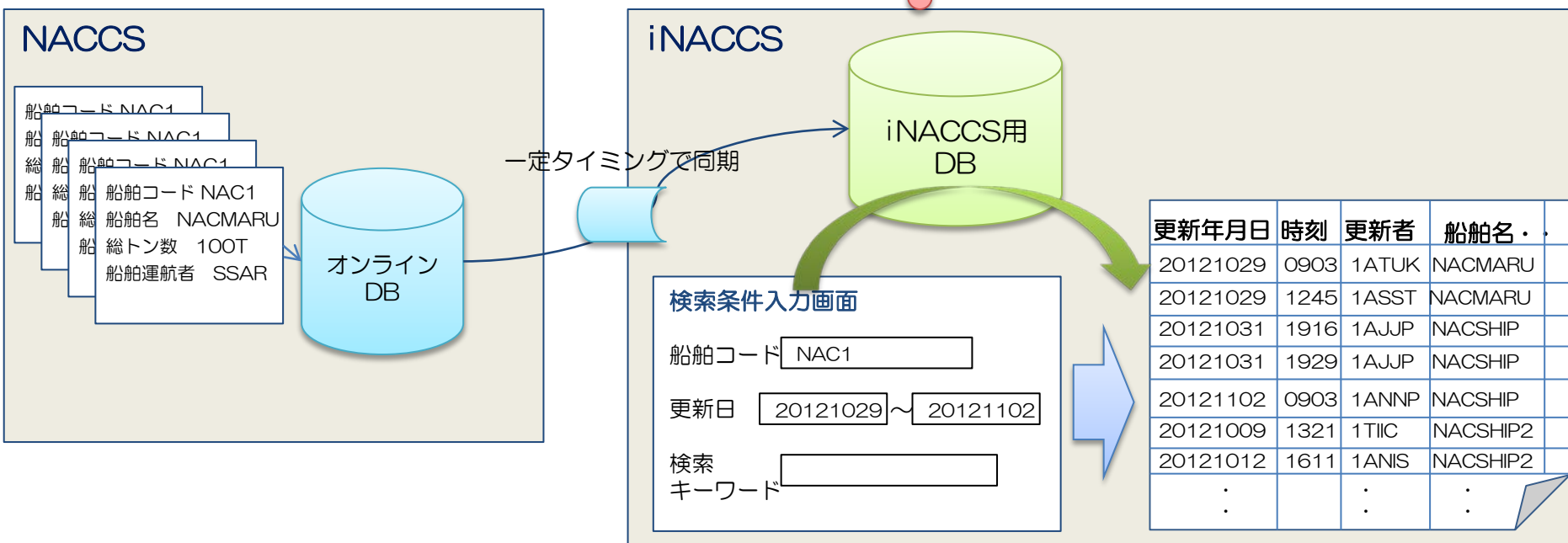
NACCSオンライン業務の照会機能

- データの保存期間内に限り照会可能。
- 最新の更新情報のみ照会可能。

iNACCSのレポートサービスの特徴①

- NACCS保存期間経過後もデータを保存。
- 過去の更新情報をスナップショットで保存。更新前の情報も照会可能。
- 条件指定により絞り込んだ情報を照会可能。

レポートサービスイメージ ～船舶基本情報訂正履歴のレポート～



3. レポートサービスについて（詳細）

(B) 管理資料情報 + α情報の提供

【サービス概要】

- 現行システムにて提供している管理資料情報について、iNACCSより提供する。（配信周期、出力先、出力単位等は現行システムと同様）
- 一部の管理資料情報（対象の管理資料については検討中）について、利用者が望むタイミング、条件で抽出可能なレポートサービスを提供する。

保税台帳となる
情報

レポートサービスイメージ ～保税蔵置場向け輸入貨物搬出入履歴の レポート～

検索条件入力画面

管理資料選択 ▼

出力条件
通常
個別

期間 ~

B/L番号

情報取り出し

通常の管理資料
取り出しの場合

日常的な調査等に
使用する場合

| 搬入年月日 | 搬出年月日 | 貨物管理番号 | 船舶 | 船舶 |
|----------|----------|------------|------|------------|
| 20121001 | 20121001 | NACS123001 | NACS | |
| 20121001 | 20121001 | 11QUHASLNM | 11QU | |
| 20121002 | 20121002 | NACS123001 | NACS | |
| 20121002 | 20121002 | AOLU138006 | AOLU | |
| 20121002 | 20121002 | 13UQJPMA11 | 13UQ | |
| 20121001 | 20121001 | YYKS326007 | YYKS | |
| 20121002 | 20121003 | NACS123001 | NACS | |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | | |

| 搬入年月日 | 搬出年月日 | 貨物管理番号 | 船舶 | 船舶 |
|----------|----------|------------|------|------------|
| 20121002 | 20121002 | NACS123001 | NACS | |
| 20121002 | 20121003 | NACS123001 | NACS | |

指定した条件で抽
出が可能

iNACCSのレポートサービスの特徴②

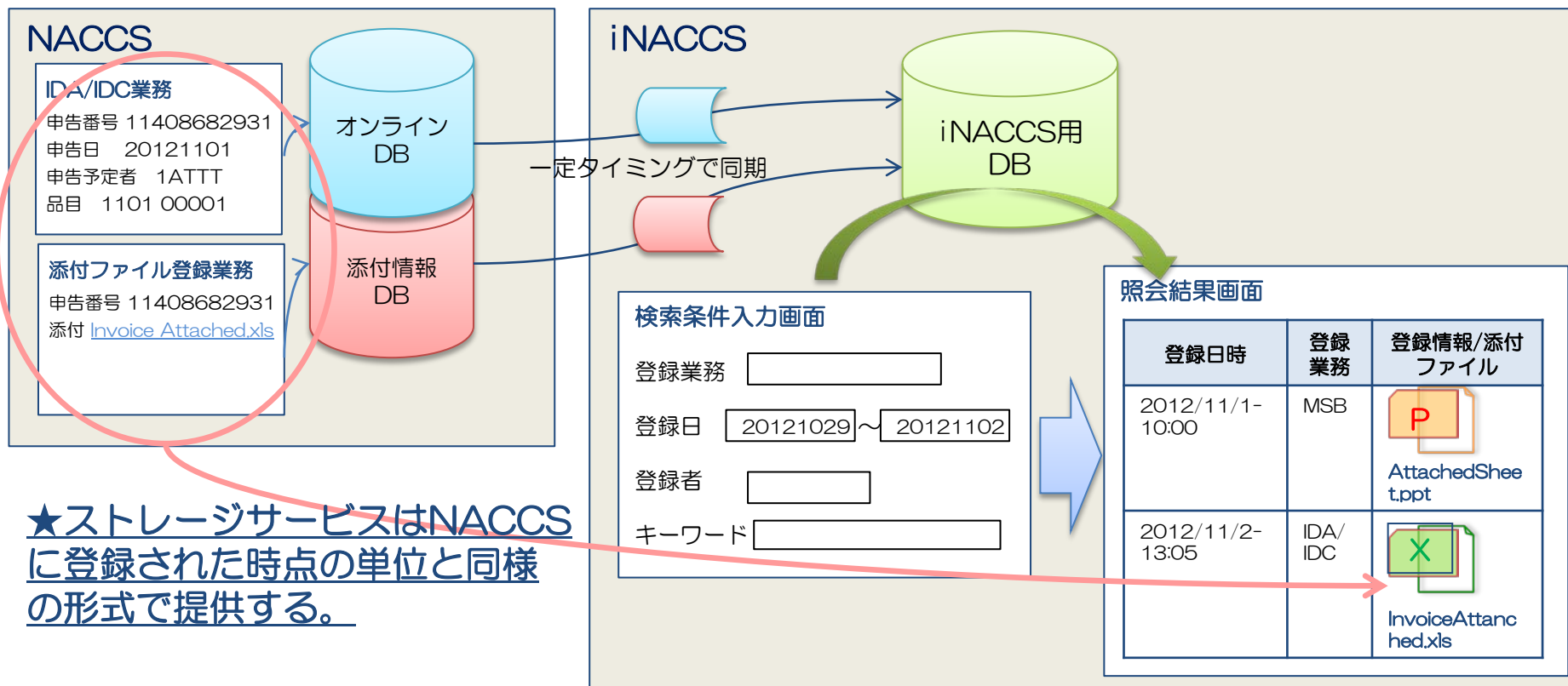
- 現行システムで取り出しタイミングが限られている管理資料情報について、利用者が必要とするタイミング、条件で抽出を可能とする。
→ 貨物の動向調査等にも活用が可能。

4. ストレージサービスについて (概要)

ストレージサービス

NACCSで処理された情報について、長期間にわたってシステム (iNACCS) に保管し、保管している情報を利用者が必要なタイミングで取り出すことを可能とする。

ストレージサービスイメージ ～添付情報のストレージ～



4. ストレージサービスについて（詳細）

(A) NACCSから出力・配信された情報のストレージサービス

【サービス概要】

- NACCSに蓄積されている情報について、利用者が望むタイミング、検索条件で検索を可能とする。

【具体例】

(a) 過去にNACCSから出力された出力情報のストレージ

※ストレージ対象情報は詳細で検討する。

(b) 過去にNACCSから配信された管理資料情報のストレージ

※現行の「保税管理資料再出力依頼情報登録・変更（DLH01）」業務の機能+α機能の提供（対象管理資料の拡大、検索機能の充実）

(c) 輸出入申告情報に添付された電子ファイルのストレージ

ストレージサービスイメージ ～出力情報のストレージ～

検索条件入力画面

登録日 ~
出力情報コード
キーワード



照会結果画面

| 受信日時 | 出力情報コード |
|----------------------|--|
| 2012/10/30 -10:00 |  SAT0001 |
| 2012/11/01 -13:05 |  SAE1LF1 |

貨物業務の出力情報
と申告情報控を一度
に検索可能

iNACCSのストレージサービスの特徴①

- 出力情報コードを指定せずに、キーワードで検索が可能。
- （例）あるB/L番号が記載された出力情報（出力情報コード不明）を検索したい場合に、期間とキーワードでの検索が可能。

NACCS「再出力」業務の場合

- 出力情報コードとキー情報を指定する必要がある。

4. ストレージサービスについて（詳細）

(B) NACCSストレージ情報の呼出し機能

【サービス概要】

- 過去の申告情報や貨物情報を呼び出し可能とする。呼び出された情報を元に後続業務での継続利用を可能とする。

【具体例】

(a) 蔵入貨物に関する後続業務（保税運送申告等）を実施するにあたり、必要な貨物情報をストレージ情報から呼び出す。（検討中）

(b) 蔵出輸入申告を行うにあたり、必要な当初輸入申告情報をストレージ情報から呼び出す。

※現行のディレード業務の機能+α機能の提供（対象情報の拡大、検索機能の充実）

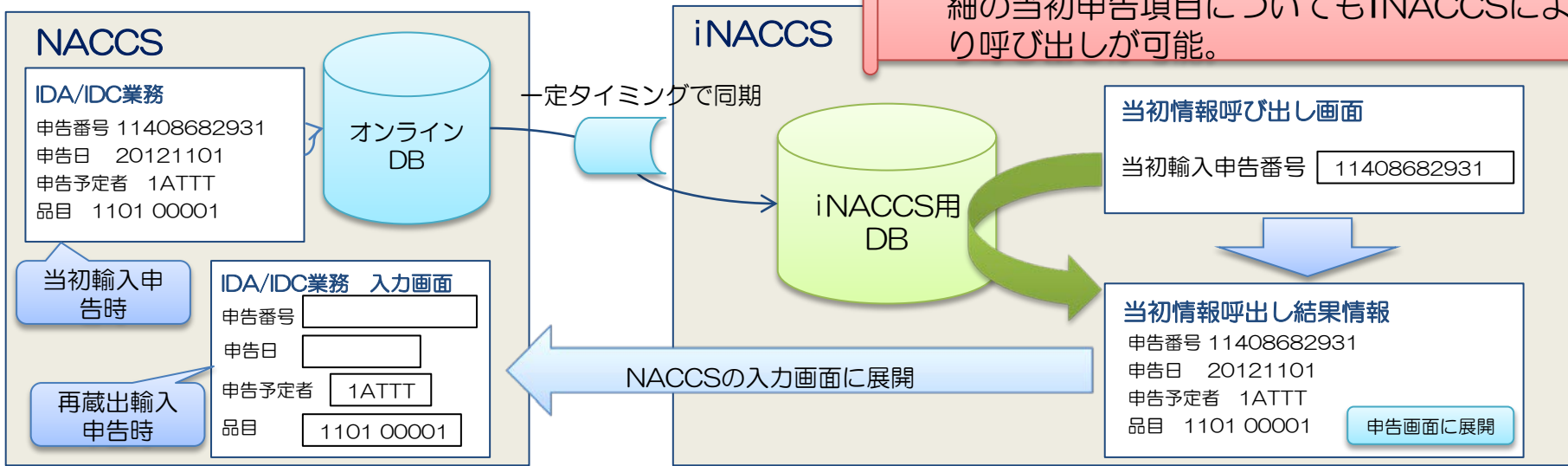
「当初輸入申告情報呼出し（蔵出輸入申告等）（DLIO1）」業務、「当初輸入申告情報呼出し（修正申告）（DLIO2）」業務

「当初輸入申告情報呼出し（関税等更正請求）（DLIO3）」業務、「一括納付用明細データ（民用）関連依頼情報登録・変更（DLS03）」業務

iNACCSのストレージサービスの特徴②

- 当初申告情報のうち、現行システムのディレード業務では呼び出しができなかった詳細の当初申告項目についてもiNACCSにより呼び出しが可能。

ストレージサービスイメージ ～当初申告ストレージ情報の呼出し～

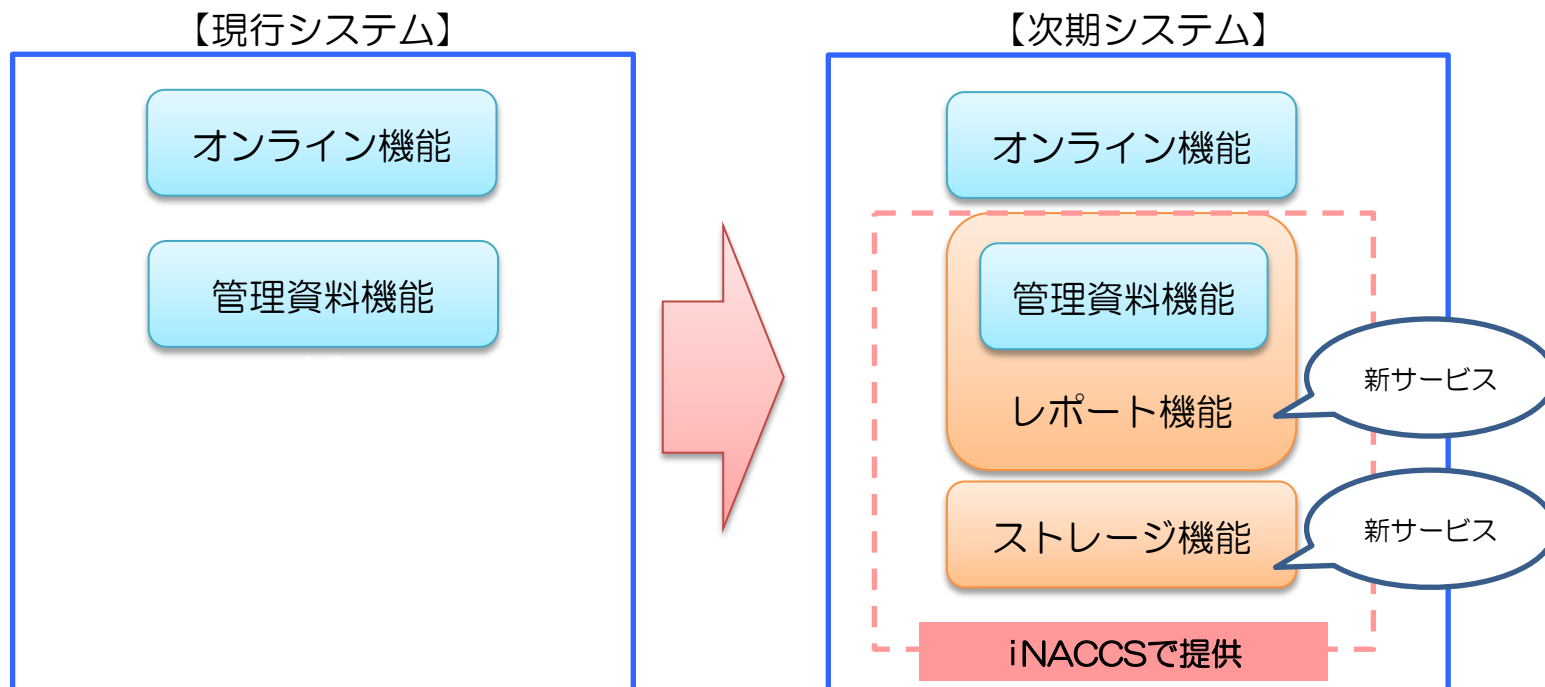


5. 情報のダウンロード形式について

| サービス名 | 取り出し方法（概要） | 具体的なサービス（例） | ダウンロード形式 |
|-------|---|--|-----------|
| レポート | <ul style="list-style-type: none"> 条件に合致したデータを一括ダウンロード ダウンロード前に対象データの表示は行わない。 | <ul style="list-style-type: none"> 過去の申告情報のレポート 船舶基本情報の訂正履歴レポート 管理資料情報を活用した貨物の搬出入履歴レポート 等 | CSV |
| | | 管理資料情報のレポート | CSV |
| | | | NACCS-EDI |
| ストレージ | 条件に合致したデータを画面上で一覧で表示。一覧上で取り出ししたい情報を選択した上でダウンロード | 出力帳票のストレージ | NACCS-EDI |
| | | 管理資料のストレージ | CSV |
| | | | NACCS-EDI |
| | | 当初申告ストレージ情報の呼び出し | NACCS-EDI |

6. iNACCSで提供する機能の位置づけ及びインターフェースについて

① iNACCSで提供する機能の位置づけ



② iNACCSの入出インターフェース

| | iNACCS | | |
|----------|--------|---------|--------|
| | 管理資料機能 | レポート機能 | |
| | | ストレージ機能 | |
| パッケージソフト | ○ | ○ | ○ |
| 自社システム | ○ (*1) | ○ (*1) | ○ (*1) |
| Web | △ (*2) | ○ | △ (*2) |

(*1) 接続方式については今後検討

(*2) CSV形式でデータ提供する業務のみ対象

7. iNACCSの提供時期等について

1. サービス開始時期

平成29年10月：既存機能（レポートサービスのうちの管理資料情報の提供機能等）のリリース

～平成31年 2月：段階的に新規機能（上記以外のレポートサービス+ストレージサービス）のリリース

2. オンラインデータとの同期

1日1回同期をとる方向で検討

3. データの保存期間

7年

4. バックアップセンター機能

既存機能について、バックアップセンターにおけるデータのバックアップ機能を提供する。

5. 現行システムからのデータの移行

実施しない